

不登校児が考えた教育格差について

第五砂町小学校 6年2組 關根たお

プロローグ

僕は不登校になってから、教育に興味を持つようになった。教育のことを調べていくうちに、「教育格差」という言葉を知った。だから、もっと調べてみようと思った。

家庭の格差

親の学歴や仕事などが関係する。学歴は、親が大卒だと大学に行くものだと思っているから、大学進学を前提とした教育になりやすい。住んでいるところが地方だと、地域から出ないことを前提にした教育になりやすい。他にも仕事で稼げるお金が多かったり少なかったりすると教育にかけられるお金が違うから、また格差が生まれる。

僕は一人あたりの、幼稚園から大学までの教育費用を調べた。それによると、最も教育費が安いケースは、幼稚園から高校まですべて公立で、地元の国立大に自宅から通学する場合、約062万円になる。対して最も教育費が高いのは、幼稚園から高校まで全て私立で、大学は私立大学医歯系の下宿になる場合、約4710万円になる。この差は約3650万円にもなる。このお金を全額出せる家もあるが、1062万円を出すだけでやっとの家もある。このことからわかるのは、お金の有るなしだけでとんでもない違いが生まれることだ。

○大学卒業までにかかる平均的な教育費(下宿費、住居費等は除く)は、全て国公立でも約800万円。
 全て私立だと約2,200万円に上る。

(単位:円)

区分	学習費等(※)総額					合計
	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学	
高校まで公立、 大学のみ国立	662,340	1,821,397	1,379,518	1,175,267	2,626,400	7,664,922
すべて公立	662,340	1,821,397	1,379,518	1,175,267	2,697,200	7,735,722
幼稚園及び大学は私立、 他は公立	1,610,918	1,821,397	1,379,518	1,175,267	5,267,200	11,254,300
小学校及び中学校は公立、 他は私立	1,610,918	1,821,397	1,379,518	2,755,243	5,267,200	12,834,276
小学校だけ公立	1,610,918	1,821,397	3,839,621	2,755,243	5,267,200	15,294,379
すべて私立	1,610,918	8,810,687	3,839,621	2,755,243	5,267,200	22,283,669

※幼稚園～高等学校:学校教育費、学校給食費及び学校外活動費の合計
 大学:授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費、通学費の合計(学費)

幼稚園～高等学校:文部科学省「平成22年度子どもの学習費調査報告書」に基づいて作成
 大学:独立行政法人日本学生支援機構「平成22年度学生生活調査報告書」に基づいて作成

地域の格差

近隣住民の大卒者割合に大きな差があり、その差が近年において拡大していることは、義務教育段階で公立学校を学習指導要領や財政支援などで全国的に支援しても是正できない広い意味での教育環境格差の存在とその拡大を意味する

(松岡亮二、『教育格差：階層・地域・学歴』・筑摩書房,2019より引用)

ここでのポイントは、子供本人にはどうしようもない初期条件(地域や出身家庭、周辺にいる大人たちなど)によって子供の選択肢の幅が狭まってしまうこと。その結果、最終学歴や人生の選択の仕方などにも影響が及び、将来的働き方や収入などの「次世代の格差」が再生産されてしまう仕組みがあることだ。

例えば都会の塾と田舎の塾で同じ名前の塾でも、塾の質が違う、だが今は通信教育のZ会や、オンライン塾の言葉の森のように。田舎にいてもさまざまな教育を受けることができる。これによって選択の幅が広がったが、これらは有料だから、お金のない子はどうすればいいかという問題になる。

不登校の格差

僕は不登校で、考えた。国語・算数・理科・社会・英語は市販の教材を使って、家でもできるし、リアルでもオンラインでも塾はたくさんある。でも、専門的な先生や設備が必要な、図工・音楽・体育などや、運動会などの行事は学校でしかできない。だから、僕は図工や委員会だけをやり、学校に行ったことがある。

しかし・・・同級生から文句を言われた。

「自分たちは我慢して学校に行っているのに、なんで来いの？ずるいよ！！」

「自分の好きなときに来てずるいよ！！」

それ以来学校に行けていない。本来なら学校でできることもできない、コレは格差だと思う。

日本の義務教育は学校に行かなければ受けられない。

不登校の人たちと教育格差を受けている人の共通点は選択肢が少なくなることだ。つまり色々な人の選択肢が広がれば、もっといい国になると思う。

エピローグ

僕は人一人には無限の選択肢があると思うけれど、教育格差などがあるって、かなり選択肢が狭められるのはおかしいと思う。どんな人にもふさわしいチャンスは有るべきだと考えた。

